

日光白根山の火山活動解説資料（平成 29 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜^{うたがはま} 監視カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・ 地震活動（図 2-①、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 2-②～④、図 4）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況
(2月4日 歌ヶ浜^{うたがはま} 監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 3 月分）は平成 29 年 4 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 26 情使、第 578 号)。

計数基準変更履歴

開始① 2010 年 12 月 10 日～ 五色沢振幅：1.0 μ m/s 以上、S-P：1.5 秒以内
 変更② 2011 年 3 月 11 日～ 五色沢振幅：10.0 μ m/s 以上、S-P：1.5 秒以内
 変更③ 2013 年 7 月 1 日～ 五色沢振幅：2.0 μ m/s 以上、S-P：1.0 秒以内

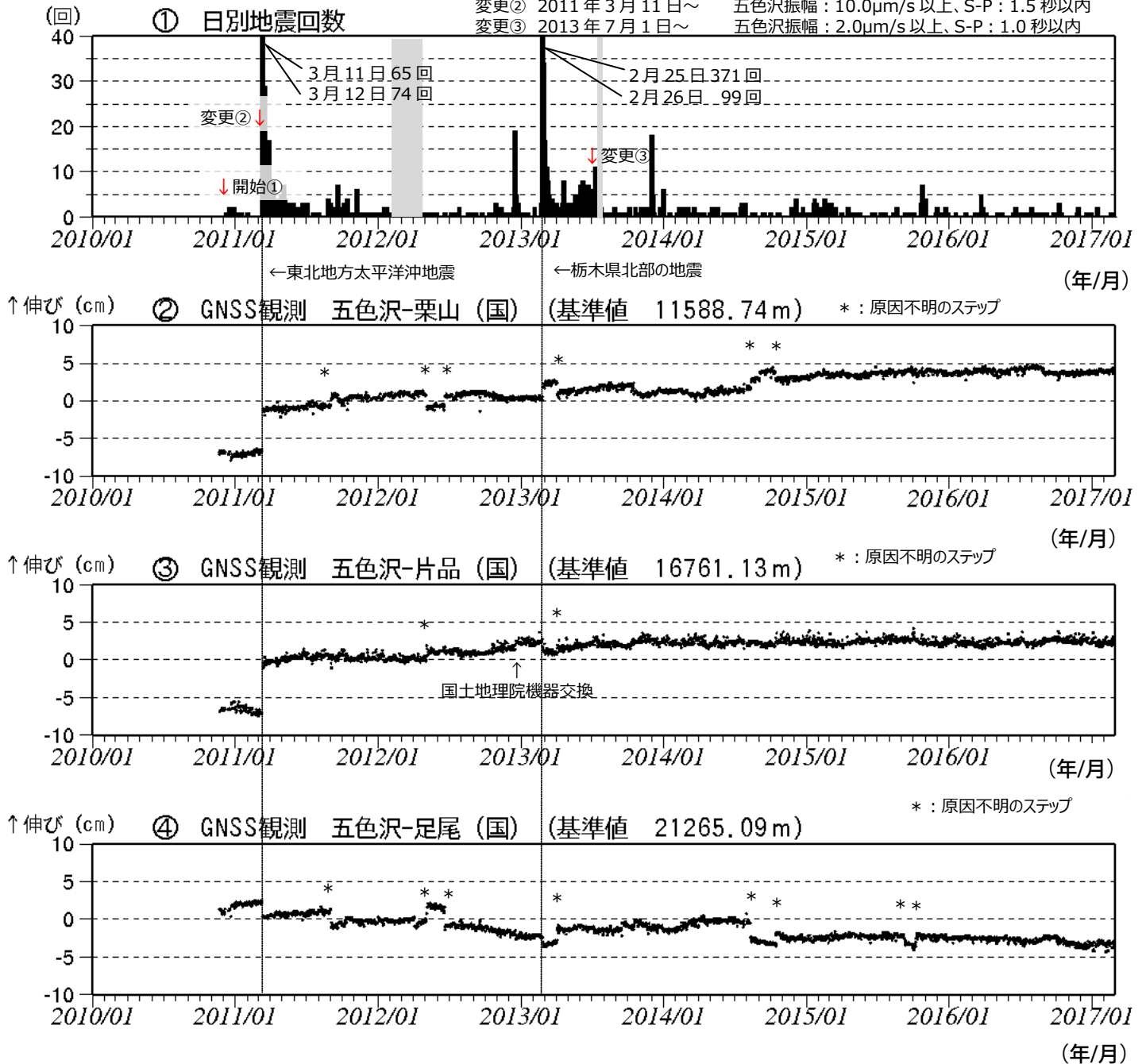


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2017年2月28日）

- ① 日光白根山周辺の日別地震回数 2010年12月10日観測開始
 - ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。
 - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震以降、日光白根山の周辺で再び地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ②～④ GNSS連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院
 五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日
 - ・グラフの空白部分は欠測を示しています。②～④は図4の②～④に対応しています。
 - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。

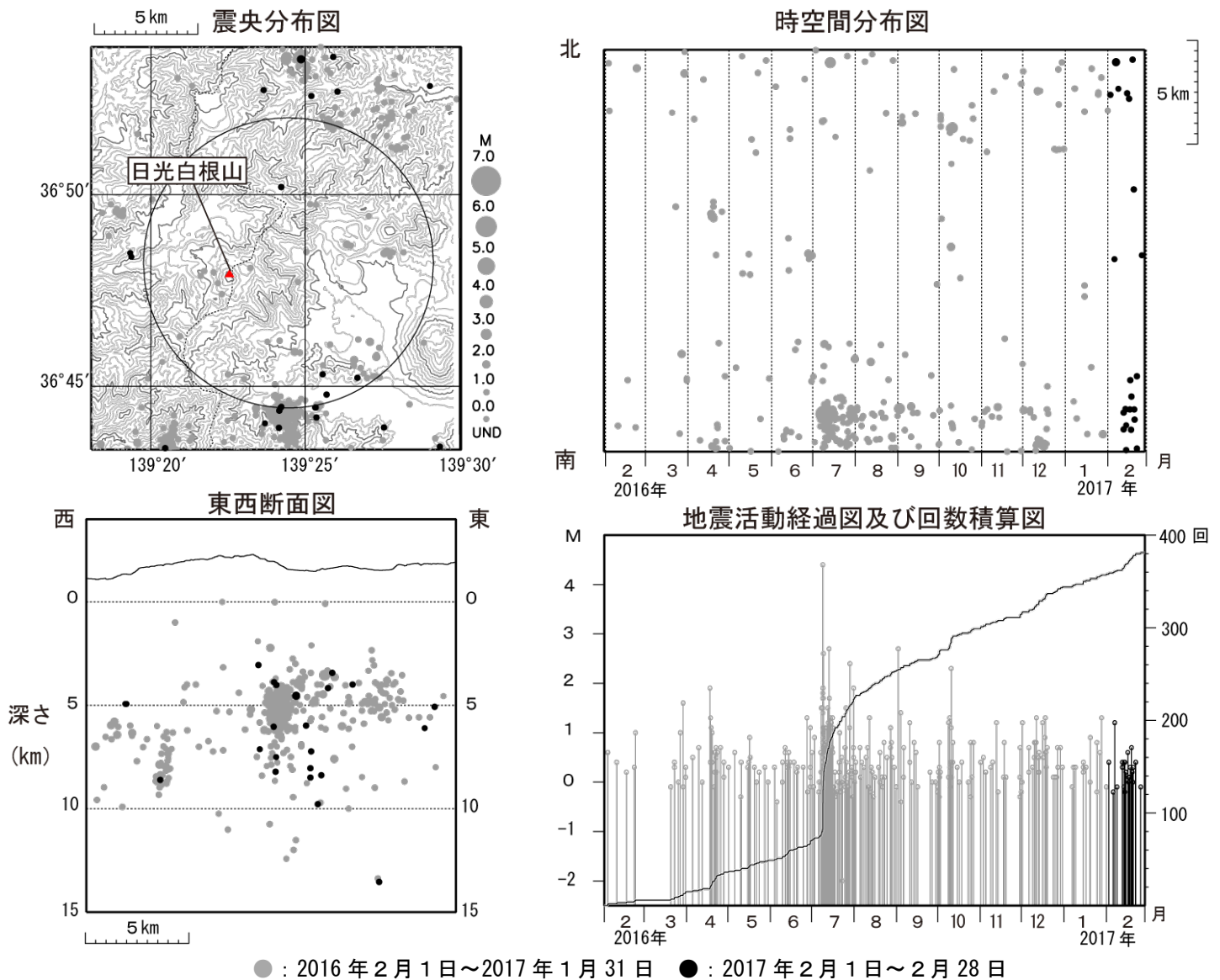
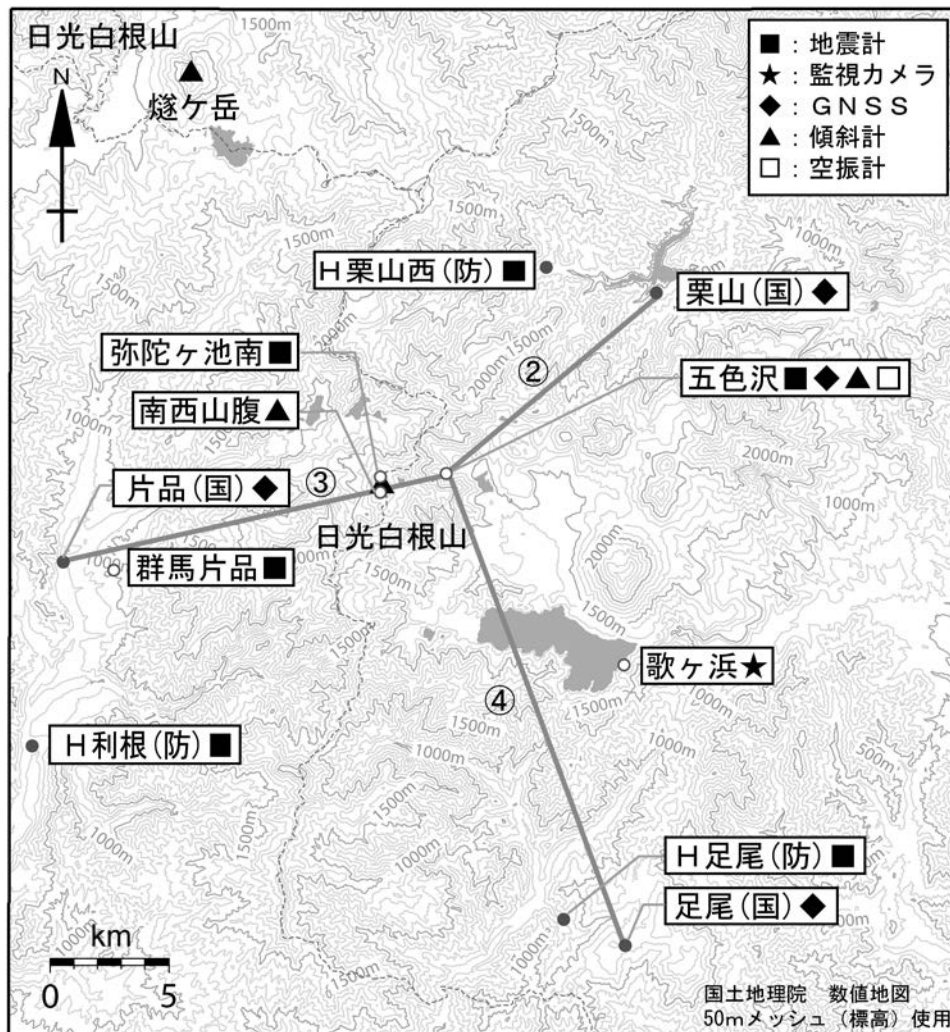


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年2月1日～2017年2月28日)
 ・震央分布図中の円は図2-①の計数対象地震(五色沢でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 ・震源の深さは全て海面以下として決定しています。
 ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
 ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所

図 4 日光白根山 観測点配置

・ GNSS 基線②～④は図 2 の②～④に対応しています。